

令和6年度 第8回臨床腫瘍セミナー

がんに対するリハビリテーション診療

リハビリテーション医学・医療は、「機能を回復し、障害を克服し、活動を育む」ものである。WHOの中心分類では疾患・外傷はICD (International Classification of Diseases) を基に分類されるが、生活機能はICF (International Classification of Functioning, Disability and Health) を基に分類される。リハビリテーション診療では、ICFの概念に基づいて、健康状態 (疾患・外傷) を管理し、背景因子 (個人・環境) を把握した上で、リハビリテーション治療・支援を通じて、患者さんの機能回復と活動性改善を図っている。そのためには、医師、看護師、療法士、医療ソーシャルワーカーなどの多職種がチームを形成し診療を実践する必要がある。がん治療とがん患者さんを取り巻く環境が変化している現在、がんに対するリハビリテーション診療の目的は、がん患者さんのADLを維持・向上させ、社会活動を営めるようにすることが主となる。また、がん治療による合併症予防や、がん患者さんの運動器障害への対応、緩和ケアへの対応なども重要である。がんに対するリハビリテーション診療の必要性は高まっており、その果たすべき役割は大きい。

広島大学病院 リハビリテーション科 教授

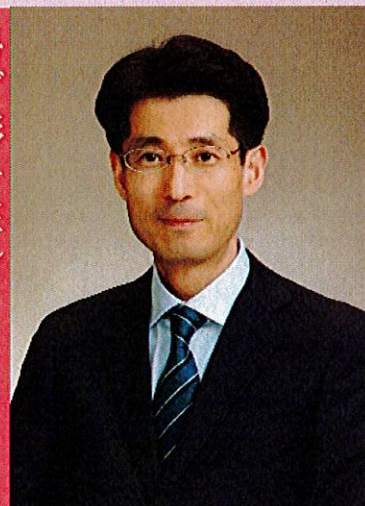
講師

三上 幸夫 先生

(みかみ ゆきお)

1995年東北大学医学部卒業、2002年東北大学大学院医学系研究科卒業、東北大学病院外科および関連病院勤務。ドイツ・フライブルグ大学病院・外科へ2年間留学。2007年より広島大学病院整形外科および関連病院勤務。2013年より広島大学病院リハビリテーション科、2019年より和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座准教授、2022年5月より広島大学病院リハビリテーション科教授。

医学博士 (東北大学)、日本リハビリテーション医学会・専門医・指導医・代議員・事務局幹事、日本整形外科学会・専門医、日本消化器病学会・専門医、日本外科学会・登録認定医、日本消化器外科学会・登録認定医、麻酔科標榜医



日時：令和6年12月19日(木)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

参加無料／事前登録不要

司会：佐藤菜保子先生 (成人・老年看護学部門、
大学院看護学研究科 がん看護学領域)

- ◆がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ、患者様及び一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは、『東北広域次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。

◆本セミナーは、大学院授業要項に基づく「共通必修科目(8)」に該当します。大学院生は履修票をご持参下さい。

【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL: 024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp

【次回予定】 2025年1月15日(水) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第1臨床講義室

(講師) 大阪医科薬科大学総合医学研究センター 医療統計室 室長・准教授 伊藤 ゆり先生